



メキシコ地震について

最初に、この度の地震でお亡くなりになられた方々のご冥福と、被災された多くの方々の一日でも早い復旧をお祈りいたします。

9月7日・19日の大きな地震が原因で、本校としては8日、20日～22日、25日～28日の8日間を臨時休業いたしました。欠時授業の補てんについては本日より順次行っていきます。

19日の地震は児童生徒が学校にいる13時14分に起こりました。

この日は、奇しくも1985年のメキシコ大地震にちなんで全国一斉の避難訓練が実施された日でした。リセオでも午前11時から両コース一斉避難訓練が行われた数時間後に起きました。

ほとんどの子どもたちは教室にいて授業中でした。激しい揺れを感じ、机の下にもぐって体を守り、揺れが収まってから避難経路を通りカンチャにでました。低学年の子の中には泣いた子もいたり、先生のそばを離れなかったりした子もいました。しかし、両コースの児童生徒は、通常の避難訓練通り落ち着いて行動でき、全員がカンチャに集合し安全確保ができました。このことは普段の避難訓練の賜物であると確信します。

その後は、政府の安全であるとの指示が出るまで数十分カンチャで待機しました。非常に日差しがきつく熱中症の恐れがあったので、子どもたちを木陰に移動させ、水筒を教室から先生方が運び水分補給をさせました。安全であるとの指示が出され、教室に帰り、児童の安全確認をしてから授業を続けました。

次々にメキシコシティの情報が入り、災害の大きさと混乱が伝わってきました。とともに、大渋滞が発生しており、1時バスのリセオ帰着が大幅に遅れるとの情報が入りました。4時バスを出すことはかえって危険を増すと判断し、2時間遅らせての下校といたしました。

その間、準備してあった備蓄品を子どもたちに食べさせ、地震による被害の情報収集をしました。

バス会社の関係者の皆様の献身的な努力と保護者の皆様のご協力で、午後7時半過ぎに日本コースの全児童生徒を、無事に送り届けられたとの報告を受けた時は、教職員一同、本当にホッと胸をなでおろしました。

その後、明日からの連絡を、各担任を通して行っていました。一番悩んだのは、先の見通しが持てない事でした。1日・2日先の事しか連絡できず、保護者の方々には多大なご心配とご負担をおかけしたことを深くお詫びいたします。

最終的にリセオの安全性が明記された公的な証明書ができ、SEPからの開校許可が下りたのが28日(木)となり、やっと29日(金)より学校を再開することができました。

昨日、子どもたちと9日ぶりに再会しました。その嬉しそうな、生き生きとした姿に胸が熱くなりました。全校朝会では、まず、亡くなられた方々へ黙とうを捧げました。そして、日常生活を当たり前とらえるのではなく、日々生きていられることに感謝しよう！と話をしました。避難時の行動・態度が素晴らしかったことも褒めました。

今、子どもたちは来週に迫っている学習発表会に向けて、全力で練習しています。臨時休業のため練習時間が大きく削られた中での取り組みです。十分な成果を出せないかもしれませんが、保護者の皆様方の温かいご理解とご声援をお願いいたします。